

誰しも腐る家に住みたいとは思わないですね

でも世の中には腐る前提の家がたくさんあると言ったら言い過ぎでしょうか！・・・腐る前提とは？・・・

そもそも腐る家には防腐剤が必要！なぜなら腐ったら困るからです！でもよく考えてみると、腐らない家には防腐剤は必要ありません。これ当たり前ですよ。例えば文化財と言われる長持ちの建物には防腐剤は使っていないはずですよ。



グラスウール カビ

検索

こんな画像検索をしてみてください！

左写真のような見るに耐えないような画像がいっぱい出てきます！壁も！床も！天井も！その原因は「水蒸気」を壁に取り込んで抜けにくくその上通気にくいため



夏の外気を壁体に取り込んでしまう透湿シート

写真は、透湿防水シート！



本来壁の中の水蒸気を外部に放出する役目なのですが、文字どおり「透湿」なので夏外気に含まれる**大量の水蒸気を取り込んでしまいます**。水蒸気の性質は水蒸気圧の高いほうから低いほうに移動します。冬は室内側の水蒸気圧が高く外部のほうが低いので理にかなっていますが、**夏は逆に外気の水蒸気圧が高く低い壁体内へ流れ込んでしまいます**。その上最近ではグラスウールやウレタンなど断熱材を充填させる工法がほとんどで、**壁体内は閉塞！通気は行われなためカビや腐朽菌の繁殖しやすい環境**となっています。

**夏の水蒸気(湿気)は入れたらアウト！
床下も！壁の中も！結露だらけ！**

近年、**夏の外気の水蒸気圧は30hpa**を越すような**極めて多湿な状態**が増えています。かつては換気でドライという概念で行われていたと考えられますが、最近の外気は水蒸気(湿気)だらけ、基礎の通気パッキンも小屋裏換気もこの多湿な外気を取り込んで**特に温度の低くなりちな床下空間の結露は避けられません**。

通気基礎パッキンも然り！

小屋裏換気も然り！



構造見学会&公開気密測定で全てがわかる！

長持ちの家(建物)共通点

- ① 国産材で造られた木造であること
国宝建造物の99%は木造！
コンクリート造などで50年以上のものはほとんどなく、100年以上は皆無といえます。
- ② 防腐剤・防蟻剤は使用していません
世界最古といわれる木造建築は1,300年前「法隆寺」
飛鳥・天平の時代に防腐剤は あるわけなし、
平安・鎌倉でもありませんし、必要もなかったからです。
- ③ 夏向き通気の良い家・空調服のような家

似て非なるもの

空調服とダウンジャケット

腐る家(建物)の共通点

- ① 外気の水蒸気に無防備な家
高温多湿な夏の外気を床下、小屋裏、壁体内など 隠蔽部に取り込んでいる家
- ② 壁体の透湿性に問題のある家
- ③ 壁体内に断熱材を詰め込んだ冬向きの家
- ④ 防腐剤、防蟻剤の必要な家
- ⑤ 厚手のダウンジャケットを着込んだような家

空調服の家

夏は通気の良い
空調服が一番
通気で住まいはドライで
木材は長持ち
健康的省エネ暮らし

構造見学会&公開気密測定のご案内

6月10日(土)碧南市西浜町(20坪平屋)
6月17日(土)安城市井杭山町(28坪平屋)
10:00~16:00(予約制)
TEL0566-62-4788

ダウンの家

夏厚着してませんか？
夏の厚着は湿気を
呼び込んで
家を腐らせます！
防腐剤・防蟻剤必須の家

